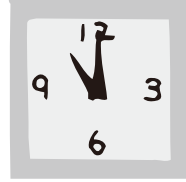


税理士



税理士は人気の職業？ それとも…

税理士という職業は人気のある職業とは言えないでしょう。職業の人気ランキング(※1)でもせいぜい100位前後で、同じ「士」の間である弁護士と比べても、「地味」な印象はぬぐえません。事実、ここにこうして記事を書いている私も、中学や高校時代には税理士という職業を意識したことは全くなく、まさか自分が税理士になるなんて思ってもみませんでした。

ところがです。同じランキングでも「人気」ではなく「年収」の順位を見てみると、何と税理士は堂々7位にランクイン(※2)

「人気はそれほどないけれど、年収は高い職業」であるというのが社会的な評価なのかもしれません。

しかし、注意したいのは税理士が現在7.1万人(平成21年7月末日現在)、その数は増えつつあります。その一方で税理士にとっての最大のお客様である「企業」の数は年々減少しています。つまり、今後はこれまでと同じくらい

の収入を得るためには、より活動の幅を広げなくてはならないということです。そのためにも、学生時代にいろいろなことを勉強したり、経験したりしておくことがとても大切だと思います。

(※1)「13歳のハローワーク 公式サイト」によると、2009年7月の月間ランキングは113位。ちなみに6月は97位だった。

(※2)「年収ラボ HP」によると、「職業 年収ランキング(平成20年版)」で7位にランキングされている。

税理士って何をする人のこと？

その名前からも分かる通り、税金に関わるのが税理士の一番の仕事です。税金にもいろいろな種類があって、会社が払う法人税、サラリーマンが払う所得税、消費者が払う消費税、挙げればきりがありません。そのようないろいろな税金についての知識と経験を基に、法律を守りながら税金を節約する方法を考え、税金計算を代行したりするのが税理士の主な仕事です。ただし、税理士は経営者

(社長さん)と直接お話しする機会がとても多い職業ですので、税金計算に限らず、自分の会社の経営に関する相談も、税理士に話されるケースがあるのも特徴です。つまり、税理士は税金のことだけでなく、経営全般の相談相手になることができる、とてもやりがいのある仕事だと言えます。

強をし続けていかななくてはなりません。

どのような資格も同じですが、「取ってしまえばこっちのなんだ」という考えでは、実務上なかなか通用しないということも肝に銘じておきたいですね。



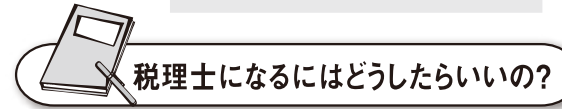
税理士は仕事柄「数字ばかり見ている」と思われがちなので、数字に強い人が向いていると言われることもよくありますが、私が思うに、税理士に向いている3大要素は「人の話をよく聞く」「コツコツ勉強するのが苦にならない」「ひらめきがある」ではないかと思っています。

まず、会社経営者の話をしっかり聞かないと、打つべき対策を間違えてしまう可能性があります。よって「人の話をよく聞く」ことが必要です。税金に関する制度も毎年変化しますので、税理士である以上勉強し続けなくてはなりません。

「コツコツ勉強するのが苦にならない」人がよいと思います。そしてもう一つ、いろいろな知識があってもそれを使いこなさなければ意味がありません。知識ではなくて知恵がある、つまり「ひらめきがある」この事がとても大切です。

ただし、どの職業にも言えることですが自分の向き不向きをあまり考えすぎず、興味を持った職業があればその職業についている人に実際に話を聞いてみるのが一番だと思います。税理士に興味がある方は、ぜひ私にご一報を。

以上



基本的には税理士試験に合格しなくてはなりません。税理士試験では5科目の試験に合格する必要があります。その内容はかなり難しく、短期間に合格するのはなかなか大変です。しかし、1科目ずつ合格を積み重ねることが可能ですので、通常は数年間かけて計画的に合格を目指します。

また、大学院を卒業(修了)することで数科目の受験が免除されることがあります。確実に税理士に合格するためには、このような方法を利用するのもいいかもしれません。

いずれにしても、税金に関する法律は毎年のように変化しますので、税理士になった後も勉